

平成23年第2回定例議会（諸般の報告）

去る3月11日に発生いたしました東日本大震災により、多くの生命・財産が失われました。

犠牲になられました方々のご冥福を心からお祈りいたします。

また、被災されました方々に、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、北総線運賃の値下げに係る予算措置について申し上げます。

5月26日付けで、北総鉄道株式会社から合意の履行に必要な予算措置を行うよう「運賃値下げ補てんに係る合意の履行について」の要請文をいただきました。

私は6月1日に北総鉄道株式会社を訪問し、笠井社長に本市における補助金支出に係る予算化がされていない状況の説明とともに、今後、議会の理解を得て予算化を図り合意の履行を図る旨をお話させていただきました。

また、併せて京成電鉄株式会社アクセス特急の市内駅停車の要請をしていることから、北総鉄道株式会社からも支援をいただきたいとのお願いをしたところでございます。

6月13日には、京成電鉄株式会社を訪問し、花田社長と三枝副社長にお会いいたしました。

その席で私は、北総線運賃値下げのための公費負担は千葉県と沿線6市の合意であり、5年間は堅持していくこと。しかしながら6年目以降につ

いては公費の負担なしで更なる値下げを目指したい旨を伝えてまいりました。

このことから、6月定例議会に北総鉄道運賃値下げ支援補助金を補正予算として上程することを申し上げるとともにアクセス特急の市内駅停車への要請をしたところでございます。

次に、市内の放射線測定について申し上げます。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、収束まで長期化が予想され、放射性物質による健康や生活環境への影響について、市民の不安が高まっていることから、6月3日開催の臨時議会で申しあげましたとおり、6月9日に千葉県が桜台小学校及び清水口小学校の校庭におきまして放射線量の測定を行いました。その際、市といたしましても簡易測定機での測定を行いましたのでその結果をお知らせいたします。

若干の差はあるものの高さ50センチメートルで1時間当たり0.20から0.28マイクロシーベルト、高さ100センチメートルでは0.20から0.35マイクロシーベルトでございました。

放射線量は、文部科学省が示している福島県内の校舎・校庭等の利用判断における暫定的な目安、1時間当たり3.80マイクロシーベルト、さらに放射線量低減策を実施する場合の指標、1時間当たり1マイクロシーベルトを下回っている状況でございました。

この結果につきましては、翌日に市のホームページで公表したところでございます。

市では、新たに放射線量測定機を5台発注していますが、納入予定が7月上旬となることから、それまでの間は、白井消防署が国から貸与されている簡易測定機1台を活用して、保育園、小・中学校、公園、出先機関、

市役所の21か所を測定場所として定期的を実施しているところでございます。

13日には市内5か所、南山小学校、池の上小学校、白井第三小学校、大山口小学校、富士こども広場の高さ50センチメートル、100センチメートル、砂場5センチメートルを測定し、即日ホームページで公表いたしました。

測定結果は、高さ50センチメートルでは1時間当たり0.20から0.29マイクロシーベルト、100センチメートルでは0.18から0.29マイクロシーベルト、砂場においては0.22から0.48マイクロシーベルトの測定結果でございました。

測定した放射線量は、暫定的な目安及び指標を下回っている状況でございます。

学校のプール水につきましては、小学校1校の放射能測定を実施し、ヨウ素・セシウムともに「検出せず」の結果を得ているところでございます。

今後も引き続き測定を行ってまいります。

農作物につきましても、千葉県において野菜類の放射性物質検査を実施しており、白井市では6月2日に「こまつな」を6月6日には「ねぎ」を検査し、ヨウ素・セシウムともに「検出せず」の結果を得ているところでございます。

放射線に係る情報につきましては、広報しろいや市ホームページなどを通じお知らせしており、毎回の測定結果をその日のうちに公表してまいります。

次に、白井コミュニティセンターの開所について申し上げます。

6月10日に多くの関係者をお招きし、開所式を行いました。

白井市では、昭和54年の千葉ニュータウンの入居を契機に公民館・児童館などの複合機能を持った施設を順次整備してまいりましたが、第一地区では旧中央公民館を地域コミュニティの拠点としておりました。

ご承知のとおり旧中央公民館は老朽化が著しいことから平成13年度から市民参加を基本に住民検討会を設置し、平成17年度からは建設のための設計や管理運営のあり方について検討するための建設準備委員会を設置し審議を重ね、完成に至っております。

白井コミュニティセンターは、市民の交流により市民活動を育成することを目的とした市内で初めてのコミュニティセンターということから、地域の交流活動や生きがいづくりの場として多くの方々にご利用をいただき、地域コミュニティの活性化に寄与することを期待しているところでございます。

次に、印西地区環境整備事業組合が整備する次期中間処理施設建設予定地の決定について申し上げます。

6月3日付けで、印西地区環境整備事業組合 管理者より、印西クリーンセンター次期中間処理施設整備事業の対象用地については、次期中間処理施設整備検討委員会における比較評価結果等を踏まえ、関係市町と協議を重ねた結果、千葉ニュータウン中央駅圏9住区業務施設地区内に決定した旨の通知がありましたので、ご報告いたします。